

13 利用者の情報行動

著者	逸村 裕
内容記述	研修：令和元年度大学図書館職員長期研修 主催：筑波大学 期間：令和元年7月1日～7月12日 会場：筑波大学春日エリア情報メディアユニオン2 階メディアホール等
発行年	2019-07
URL	http://hdl.handle.net/2241/00157202

利用者の情報行動

筑波大学図書館情報メディア系 教授
筑波大学学長補佐
筑波大学附属図書館研究開発室 室員
逸村裕 hits@slis.tsukuba.ac.jp

Does anybody really know what time it is? Robert Lamm

1. 大学の中で図書館は

- (1) 大学内での位置づけ
- (2) 大学設置基準
- (3) 学生
- (4) 教員
- (5) 職員

2. Society 5.0 と大学

我が国が目指すべき未来社会の姿
大学は

3. 変容を続ける利用者の情報行動

- (1) 利用者とは？
- (2) 社会の変化
ユニバーサル化した大学
大学の存在意義
- (3) 情報通信技術の進展
図書館における情報通信技術とは何？
「館」にこない図書館利用者
PC もスマホも
AI？

4. 利用者

- (1) デジタルイミгранト、デジタルネイティブそしてZ世代
- 1) デジタルネイティブ

A digital native is a person for whom digital technologies already existed when they

were born, and hence has grown up with digital technology such as computers, the Internet, mobile phones and

2) デジタルイミгранト (移民)

A digital immigrant is an individual who grew up without digital technology and adopted it later.

Twitter、Facebook、Youtube、LINE、と次々に現れる情報通信技術を使いこなす若者を世代論と結びつけて多様な議論があるが

3) Z 世代

(2) デジタルネイティブの特性

- 1) PC リテラシーは高い
- 2) 書くのには PC が便利
- 3) インターネット=PC である
- 4) ノート PC は画面が小さくて不便
- 5) テレビを話題にしなくなった
- 6) 動画とは見るもの
- 7) ニュースとは
- 8) ウェブとは
- 9) 図書館とは

(3) 図書館不安

5. 学生とソーシャルメディア

事例

6. 学術コミュニケーションにおける情報行動の変容

- (1) 研究者と評価
- (2) 電子資料の未来 EJ のその後
- (3) 若手研究者の情報行動は近未来を変える？
ITC に馴染んだ Z 世代が学術世界の様相を変える？

Article Level Metrics

Altmetrics

- (4) Open Access Gold Green プレプリントサーバ Plan S
- (5) Open Science

7. 学生とのやりとり

(1) 学生動向

スマホ

簡便に！素早く！

大学一年生の自己評価

レポートを書くことへの不安

プレゼンテーションへの不安

情報探索に関する根拠なき自信

1) 教科「情報」の影響

プログラミング

メディアリテラシー Webブラウザ ネット犯罪 情報セキュリティ 情報倫理
著作権

2) ウィキペディア / アマゾン

3) コピペ/剽窃

4) なんでデジタル化していないんですか？

8. 図書館サービスはどう変わっていくのか？

(1) 図書館サービスの在り方

情報リテラシ

ラーニングコモンズ

機関リポジトリ

(2) OPACの在り方

ディスカバリーサービス

すぐに情報を入手できないフラストレーション

(3) 教育学習との協同

アクティブラーニングって何？

シラバス

カリキュラムと図書館サービスの連動

(4) 学生の意見を聴く